

(様式第4号)

指定管理施設自己評価・内部評価・外部評価シート

評価対象年	令和6年度	令和6年4月1日 から 令和7年3月31日 まで			
施設名	クアーズテック秦野カルチャーホール（秦野市文化会館）	指定管理期	令和4年4月1日 から 令和9年3月31日 まで		
指定管理者	みんなの文化会館秦野パートナーズ	施設所管課	文化スポーツ部文化振興課		

【自己評価及び内部評価の基準】
3 協定書、仕様書等の要求水準を上回っており、優れた点がある。
2 要求水準を満たしている。
1 要求水準を概ね満たしているが、一部課題がある。
0 要求水準を下回っており、改善指導等が必要である。

【外部評価の考え方】
《大変良好》 管理・運営は大変良好で、また優れた取り組みの成果がある。
《良好》 管理・運営は良好である。
《概ね良好》 管理・運営は概ね良好であるが、その一部に課題がある。
《要改善》 管理・運営に課題があり、改善が必要である。

I 施設の維持管理						
項目	評価視点	配点	自己評価	内部評価	履行状況	
施設の維持管理	協定書や仕様書等に従い、設備・機器等の保守管理が適切に行われ、利用者が安全で快適に利用できる状態が保たれている。	3	2	2	【自己評価】 ●施設面では休館中も経年劣化による故障や不具合が発生しているが、利用者の安全を優先に修理対応。●設備や清掃は休館に伴い美観を損なわないよう、再開時に支障がないよう、開館時よりも重点的に維持管理に取り組んでいる。●備品の管理は、休館に入ってから、館内備品のすべてを点検し、再開後へ向けた利用者サービスの向上につなげる作業に注力した。 【内部評価】 休館中は、開館時にはできない備品等の管理及び清掃を適切に行った。特に、長年整理をしていなかった大ホール地下の清掃及び物品の処分を行った。また、休館中の清掃においても、計画的に行い、休館中でも清潔に保たれていた。	
施設の修繕	協定書や仕様書等に従い、指定管理者で行う修繕が適切に実施されている。	3	2	2		
清掃・衛生管理	協定書や仕様書等に従い、清掃・衛生管理を適切に行い、施設が清潔に保たれている。	3	2	2		
備品の管理	備品及び附帯設備等が適切に管理されている。	3	3	3		
第三者委託	第三者への委託に係る取扱い、協定書や仕様書等に基づいた適切なものである。	3	2	2		
環境配慮	省エネやリサイクル等、環境に配慮した取り組みを行っている。	3	2	2		
小計		18	13	13		

2 施設の運営					
項目	評価視点	配点	自己評価	内部評価	履行状況（内部評価）
設置目的等の理解	施設の設置目的や役割、協定書や仕様書等の内容を従事者全員が理解し、運営している。	3	2	2	【自己評価】 休館中も「文化会館の出張公演、出前コンサート」と題し、地域へ積極的に向かい出した。開館時に劣らない、地域の人々とのコミュニケーションがとれた。開館再開後につながる運営に注力した。
サービス提供	施設の設置目的と協定書や事業計画書等に沿ったサービスの提供を実施している。	3	2	2	
自主事業の成果	施設の設置目的に沿った自主事業が実施されており、またそれは利用者サービスの向上につながっている。	3	3	3	
個人情報の漏えい防止	個人情報を適切に管理し、漏えい等の防止策を講じている。	3	2	2	【内部評価】 休館中は、学校や公民館等に向かい（アウトリーチ事業）、市民に、質の高い文化・芸術の鑑賞機会を提供しました。アウトリーチ事業では、文化会館人材バンクの協力アーティストである「かるちゃん音楽隊」を活用するなど、地域に関わりのある人材の活用も行っている。
地域との関わり	地域や関係団体と連携し、魅力ある施設づくりに取り組んでいる。	3	3	3	
市内事業者の活用等	市内事業者の活用や市民の雇用など地域への貢献がなされている。	3	3	3	
使用の承認並びに利用に係る料金の収受	協定書や仕様書等に従い、適正に利用の許可及び利用料金の収受が行われている。	3	2	2	
小計		21	17	17	

3 危機管理対応					
項目	評価視点	配点	自己評価	内部評価	履行状況（内部評価）
事故発生時の対応	緊急事態発生時において、遅滞なく適切な処置を行うことができる体制となっている。	3	2	2	【自己評価】 消防本部から講師を招き、AEDの取り扱い訓練を実施した 【内部評価】 休館中も日常点検、巡回警備、施設・舞台の点検等を実施している。
事故防止の対応	事故等を防止するために、日頃から積極的に取り組んでいる。	3	2	2	
小計		6	4	4	

4 指標の達成状況・改善の取組み					
項目	評価視点	配点	自己評価	内部評価	履行状況（内部評価）
指標の達成状況	（指標を設定している場合）指標の達成状況は適当である。	3	2	2	【自己評価】 6月までの大小ホール、小規模事業、7月からの休館中のアウトリーチを含め、自主事業での動員数は前年の6割（約7,500人）を達成。来場者アンケートも観客満足度は90%を超えている 【内部評価】 動員数について事業計画の9,200名には達していないが、アンケートの観客満足度は90%を超えている。令和7年度については集客について工夫を求めたい。
改善の取組み	本市の点検や評価による指導等について、適切な改善が行われている。	3	2	2	
小計		6	4	4	

5 サービス向上の取組み					
項目	評価視点	配点	自己評価	内部評価	履行状況（内部評価）
利用者への案内	利用者への案内は、誰にでもわかりやすいものとなっている。	3	2	2	【自己評価】 開館中は、引き続き、増える高齢利用者への案内（客席までのアテンドや駐車場までの見送りなど）や館内の段差の注意喚起などに積極的に取り組んだ。休館中は催事案内を希望する人向けに、個別郵送でのチラシ送付を実施した
利用しやすい環境整備	利用者にとって、利用しやすい環境整備に取り組んでいる。	3	2	2	
業務の標準化	業務マニュアル等を整備し、利用者対応にはらつきがないよう業務が標準化されている。	3	2	2	
接遇	利用者等に対して不快感を与えない適切な接遇が行われている。	3	2	2	
アンケート結果	利用者アンケート等の結果は、満足度の高い評価となっている。	3	2	2	【内部評価】 休館中も、タウンニュースやSNSを活用した広報を行った。タウンニュース秦野版「芸術文化通信 harmonia ハルモニア」や「丹沢文化通信」では、地域で活動する方々を紹介するなど、市内の文化芸術活動の発信も積極的に行っている点は評価できる。
サービスの質の向上	利用者の意向等を定期的に確認し、継続的にサービスの質の向上に取り組んでいる。	3	2	2	
施設の利用促進	パンフレット作成やホームページの更新などを工夫し、施設の利用促進に取り組んでいる。	3	2	2	
苦情等への対応	利用者からの苦情や要望等に対して、必要な改善に取り組んでいる。	3	2	2	
小計		24	16	16	

6 収支状況											
単位：千円											
年度 項目		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入	指定管理料	170,888	170,888	166,963	166,963	140,136	140,136				
	利用料金	25,000	15,605	25,000	15,625	4,000	5,083				
	自主事業	34,000	63,351	52,600	38,545	9,600	6,668				
	その他	250	6,652	10,632	2,123	21	534				
	計	230,139	256,497	255,196	223,258	153,757	152,421				
支出	人件費	30,190	28,624	28,452	37,993	33,660	36,659				
	維持管理経費	121,944	122,476	118,944	100,270	87,495	72,335				
	自主事業	31,535	82,684	50,000	44,672	10,716	11,201				
	その他	46,470	50,563	57,800	43,268	21,886	19,627				
	計	230,139	284,346	255,196	226,201	153,757	139,822				
総計（収入－支出）		0	-27,848	0	-2,942	0	12,599				

項目	評価視点	配点	自己評価	内部評価	履行状況（内部評価）
適正な 予算執行	収支計画書に基づき、予算の範囲内で効果的・効率的な予算執行が行われている。	3	2	2	【自己評価】 休館中のアウトリーチ事業は、できうる限りの予算削減を行い、かつ地域に根差しイベントを実施することができた
経費の効率化	経費削減に向けた取組みを行い、またその内容は効果的なものである。	3	2	2	【内部評価】 イベントの際には地域の方に出演を依頼することで、予算削減の工夫を行い、収支を改善することができた。
小計		6	4	4	

7 令和5年度 自己評価及び内部評価結果				
項目		配点	自己評価	内部評価
1	施設の維持管理	18	13	13
2	施設の運営	21	17	17
3	危機管理対応	6	4	4
4	指標の達成状況・改善の取組み	6	4	4
5	サービス向上の取組み	24	16	16
6	収支状況	6	4	4
合 計		81	58	58
配点に対する割合			71.6%	71.6%

8 全体を通しての所見	
指定管理者所見	施設所管課所見
運営面は概ね良好。7月からの休館中は、これまでの会館利用の全般を見直し、再開へ向けて利用者サービスの向上につながる作業に注力した。また、アウトリーチ事業では地域へ出向くことにより、文化会館の存在感をアピールした。	7月から、休館となっているが、今まで文化会館を利用していなかった方が再開館後に来館いただけるよう、アウトリーチ事業を積極的に実施したため、再開館後の来場者数が増加することを期待したい。 また、開館中には実施が難しい備品の点検等を行い、再開館に向けての準備もしっかりと行っていた。

9 内部評価に対する外部評価	
外部評価	外部評価に係る意見
良好	<p>特定天井等改修工事に伴い7月から休館となった中で、アウトリーチ事業により地域での文化振興活動を行うとともに、施設管理や広報活動も積極的に行っており、施設運営に関しては良好と評価する。</p> <p>なお、数字として評価できない部分もあるため、以下の意見を付す。</p> <p>1 自主事業について、休館中にアウトリーチ事業で培った経験を生かし、再開後は既存の利用者だけではなく、今まで来たことがない人にも来館してもらえるような新しい事業を実施するよう努力されたい。</p> <p>2 文化会館を利用している人以外にもアンケートを実施し、どのような事業に需要があるのかデータを収集し、若年層の来館への働きかけをされたい。</p>